

部会だより

組合せ理論部会

当部会では、月に1回会合を開いて、

- (1) 文献の紹介
- (2) 実際問題の紹介
- (3) 総合報告
- (4) 研究発表

などを行なってきた。部会員は17名(主査 伊理正夫(東大), 幹事 古林 隆(埼大))で、昨年度は毎回10名前後の出席があったが、今年度はやや少ないようである。

発表の順序は特に定めていないが、研究発表のように自発的に申し出のあったものを優先し、空きそうなときは、“ドロナワ式”に、文献の紹介をおこなっている。また、民間会社の方には、実際問題を紹介してもらっているが、興味深いものが多く、1回で終わらず、次回にもちこしたこともある。今まではだいたい1回2件の発表があったが、最近は多少“種切れ”のようである。

いままで取りあげられた主な話題をあげておこう。

- (1) 文献の紹介

○単行本(著者名と発行年をあげておく)

Ryser (1963), Beckenbach (1964),
Hall (1967), Eisen (1969), Wells (1971).

○論文(著者名と内容)

Rota (Möbius 関数など),
Held and Karp (巡回セールスマン問題),
増山 (実験計画).

- (2) 実際問題の紹介

鉄鋼業, 石油化学, 電力, 航空・鉄道などにおける組合せ問題が紹介され, 解法などについて討論を行なった。

- (3) 総合報告

Matroid, Clustering など最近注目されている分野についての総合報告が行なわれた。

- (4) 研究発表

グラフの同型性の判定,
Minimum spanning tree の作り方,
ネットワークにおける同時フロー,
シソーラスの作成.

一昨年の最初の会合で, 組合せ理論関係の用語を整理するという話もあったが, 現在までほとんど作業は進んでいない。

支部だより

関西支部

支部の活動状況

◎OR研究会が発足 関西支部OR研究会が本年度から発足し, 2~3カ月おきに開催されている。研究成果の発表・討論と啓蒙普及・一般教養のための講演, の両方の内容を含んだ形で行なっている。当支部は地域的にははなはだ細長く, また研究の“眼”も各所に散在しているので, これらの“点”を利用して会員と最寄りの研究機関との接触を密にしたいと考えている。そこで, この研究会の運営・企画はプロデューサー制をとり, 各研究機関が中心になって順番に行なっている。すでに次の2回(12月

末現在)が開催された。

・第1回(10/21):担当 阪大・西田俊夫教授

テーマ「信頼性」 於 電子総研(通産)

- (1) 信頼性の予測
塩見 弘氏(電子総研)
- (2) Intermittently used System の信頼性
高松俊朗氏(阪大)
- (3) システムの Mission Availability
児玉正憲氏(阪大)

・第2回(12/7):担当 京大・三根 久教授

テーマ「数理計画法における最近の話題」

於 京都大学数理工学教室

- (1) 大規模数理計画法の最近の発展